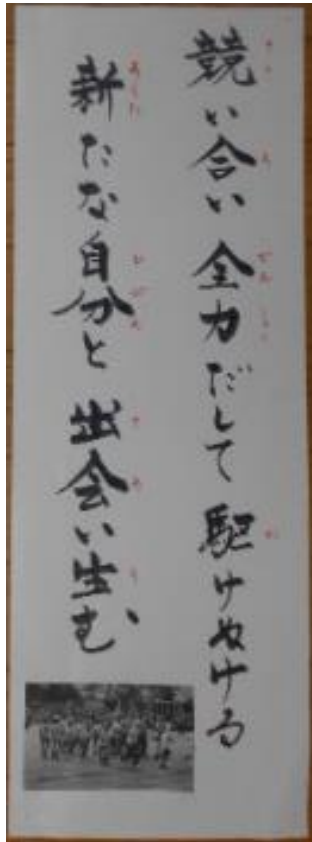


駒の子短歌

No.28 令和2年10月1日(木) 佐久市立望月小学校



運動会の校長あいさつから (一部紹介)

<前略>・・・

さて、今年の運動会スローガンは「コロナに負けず、全力でがんばろう」でした。体育館にも大きく掲示されています。その横に描かれている絵もいいですね。制作してくれた人たちに感謝したいと思います。では、このスローガンにそって決められた時間の中で振り返ります。

まず「コロナに負けず」という点では、感染を予防するために、運動会種目に様々な工夫をしたり、日々の手洗いやうがいなどに取り組んだりしました。特に運動会種目では「密にならない」という制限の中で、みんなが知恵を出し合い、今までにない新しい方法や動き、表現が生み出されました。

綱引きや騎馬戦など「コロナのためにできない」こともありましたが、「コロナがあったからこそ今まで以上に知恵を発揮することができた」ということは大きな成果だと感じました。

次に「全力でがんばろう」という点で振り返ります。運動会には競い合う競技、みんなで作り上げる表現、そして、運動会を支える係活動、の主に3つの要素があります。

その一つ目、競い合う競技については、結果としては今年は赤組のみなさん、おめでとうございます。白組のみなさん、残念でした。しかし、今みなさんの気持ちには勝った嬉しさと負けた残念さだけでしょうか。

二週間前に6年生が授業で、競い合う目的は勝つためではなく、全力を出しきって自分を磨くためだということ、考え合っていました。かけっこや短距離走では、一位から六位まで順位に関係なく、最後まで全力で走り抜ける姿をたくさん見ました。とてもよい姿だと感じました。 <後略>・・・